

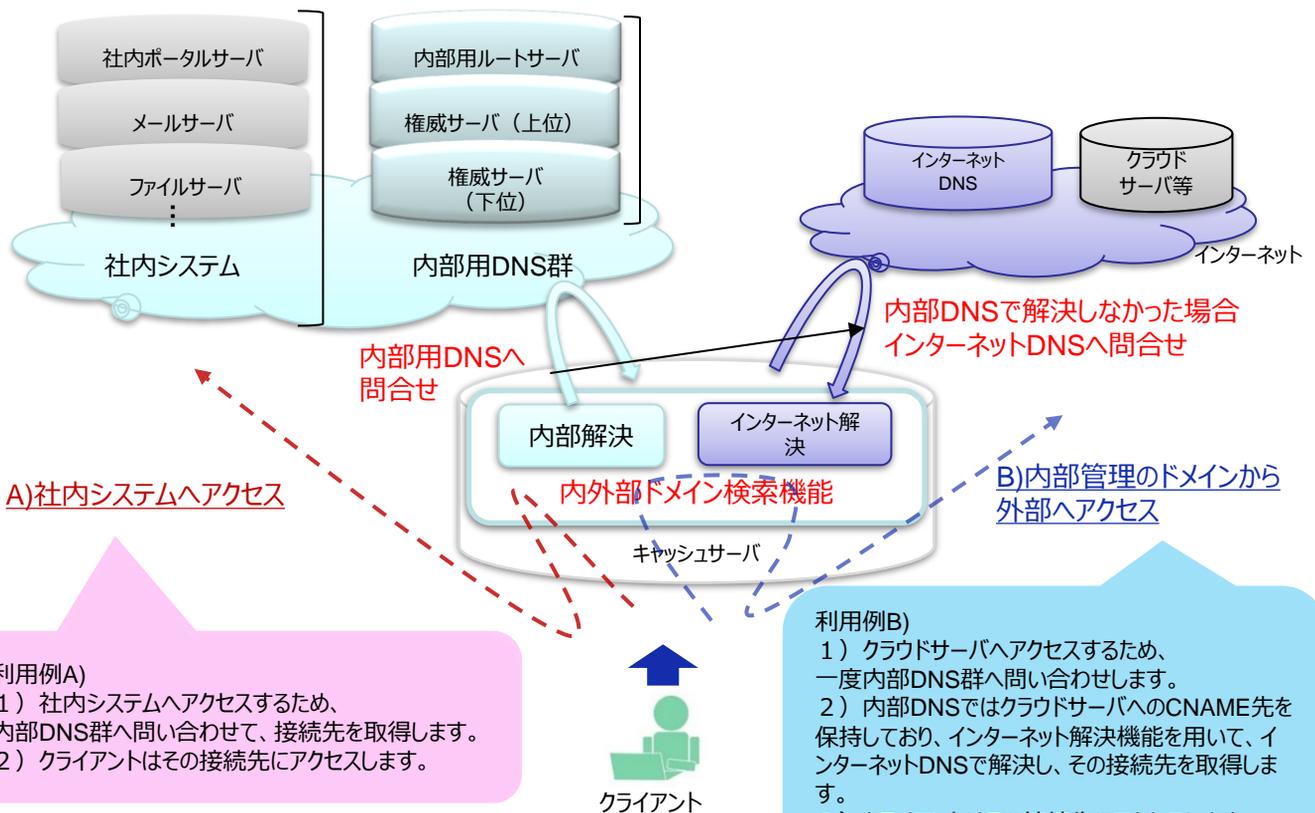
■ 内外部ドメイン検索機能

セキュリティ上、インターネットへ公開したくないDNSレコード（社内システム、クラウドサーバ等）を管理している場合に利用できる機能です。

キャッシュサーバ1台にて、内部解決用とインターネット解決用の2つのフルサービスリゾルバ機能を実現するオプション機能で、内部解決を行いアンサを得られなければ、インターネット解決にてDNS解決を行います。

内部DNS群が保持する内容

- ・内部のみで利用するレコード（社内システム用）
- ・インターネットへのCNAME先を指定したレコード（クラウドサーバ）等、**インターネットへ公開したくないレコード**



利用例A)

- 1) 社内システムへアクセスするため、内部DNS群へ問い合わせ、接続先を取得します。
- 2) クライアントはその接続先にアクセスします。

利用例B)

- 1) クラウドサーバへアクセスするため、一度内部DNS群へ問い合わせます。
- 2) 内部DNSではクラウドサーバへのCNAME先を保持しており、インターネット解決機能を用いて、インターネットDNSで解決し、その接続先を取得します。
- 3) クライアントはその接続先にアクセスします。

内外部検索機能の利点

- ・内部解決用とインターネット解決用の2つのキャッシュサーバを、1つのキャッシュサーバにて実現し、サーバ統合が可能になります。
- ・内部解決用のルートヒントファイルを持つことにより、イントラネット内部の権威サーバを再帰問い合わせができます。
- ・CNAMEレコードにて内部または外部にて保持するドメインを指定し、CNAME先も本機能にて解決できます。

不明な点がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。